京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行金五十錢▲特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久靜一郎
京城西小門通
發行所 京城新報社
電話大三番 振替口座京城四五大番
仁川支局 仁川本町三丁目 電話二一一番
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町七番地

●神經衰弱の豫防(七)

(二)笑。笑は神經の洗濯法とも云へる位で。生理上から見ると。第一中心神經に休息を與へる。食物の消化を催進する。興奮力を増加する。血液の循環を盛ならしめる。笑ふと後までも一種の爽快を覺わるのは以上の生理的效能があるからである。世間には大笑會などを開いて。大口を開いて笑比べをする者などがある局外者から見ると馬鹿〳〵しくて話にならない。けれども其れが大變身體の爲に可い。笑ふ門には福來ると云傳へてあるのは。尤至極である。加之笑は生利的の效能があるばかりではない。人と人との間を巧く調和して行く。人間から笑を取除けたら頗る殺風景に陷つて仕舞ふ。其處で大ひに笑ふが宜い。笑ひ過ぎて狂人扱にされても困るが。或る程度までは大ひに笑ふが宜い。神經衰弱などは笑飛ばされて仕舞ふ。

(三)運動。精神を使ふ事の多い人だけ運動が足らない。運動する暇のない爲でもあらうか。暇があつても運動しない人さへある。運動の必要な事を知らぬ者はないが。どうも運動を怠る人が多い。中には運動としても却つて其の爲め害を招く人がある。其んな人は運動の精神を誤解して居る人である、無暗に手足を動かせばそれが運動だと心得て居るからである。運動と云ふものは適度にすれば腦や諸臟器の鬱血を散じ體溫の發散を盛んにし。精神機能を旺盛ならしめ。筋肉の發達を助けるが。度が過ぎると却つて害になる、一體運動の目的は身體各部の血液を平均し發育の平衡を計るのが主眼であるが其の目的を遂げる爲には。運動上の注意を怠つてはならない。不規則の運動をするとか不自然の運動をしないやうに注意せねばならない。運動上注意と云つても格別六ケ敷い事はない食後三十分を經て運動をするのも一つである風雨の時に室外で運動をせずに晴天の日に室内で運動をするなどは運動の精神に背いて居る。食事や睡眠のやうに日々一定して實行するのも一つである。競爭運動や。擊劍柔術などは過勞を招き易い。體質次第で嚴禁する必要がある。柔軟體操や啞鈴などは何んな人にでも適する運動法であるから。紳士、令夫人又は體質の弱い人などの爲めに宜からう。

(四)發聲。適度に聲を出すのも精神上の利益がある。生理上から見ると呼吸を深大にして。肺の空氣交換を十分ならしめ。血液の循環を活潑にする。從つて新陳代謝を増進する。發聲と云つても只だ聲を出すでは餘りに單調で趣味がないから。朝起きて祝詞を上るとか。念佛を唱へるとか。讚美歌を歌ふとか。又は詩吟なり謠曲なり。其他何でも自分の好む所に從つたが宜い。

●世界列強の富力

內務省の調査に依れば各國一人宛の富力と所得を比較すれば富力は英國三千圓佛國二千五百圓北米合衆國二千三百五十圓獨逸千五百圓にして我日本は僅かに二百五十圓に過ぎず又一人の所得は英國三千五百圓佛國三百十二圓北米合衆國四百四十圓獨逸二百四十七圓にして我日本は實に六十四圓を出でずと

●日鮮間現金貸借

本年度に於ける我が政府の財政計畫にて京城本金庫を收入すべき歲入金は總督府歲計の歲入二四、〇六七、〇〇〇圓にして支拂ふべき歲出は總督府歲計四八、七四一、〇〇〇圓及陸海軍經費八、八六一、〇〇〇圓合計五七、六〇二、〇〇〇圓なれば其差額三三、五三五、〇〇〇圓の內一二、三二四、〇〇〇圓事業公債金の貸上げに依り殘余二一、二一一、〇〇〇圓は內地よりの廻金にて補充せらるべきものとす然れども金庫爲替の關係上朝鮮が內地に對して有する債務額即受入超過額は此回金額中より差引かるゝが故に本年度に於ける正味の回金額を豫想するには昨年度に於ける金庫爲替狀況を觀ざる可らず而して昨年度京城本金庫取扱內地朝鮮間金庫爲替は特種の事情あるものを除き郵便爲替超過金にして內地へ爲替を取組たる高より逆爲替にして內地より取寄たる金高を差引ときは一三、一八七、〇〇〇圓の受入超過となり又內地歲出金を朝鮮にて支拂たる高と朝鮮の歲出金を內地にて支拂たる高とを比較して一、四三五、〇〇〇圓の支拂超過となり兩者を差引して結局一一、七五二、〇〇〇圓の受入超過となる可し之を前期の二一、二一一、〇〇〇圓より差引時は九、四五九、〇〇〇圓となるも[illegible]に總督府公債の利子百五十万圓を加算すれば一〇、九五九、〇〇〇圓が內地より朝鮮に入り來るものなりと(鮮銀調查)

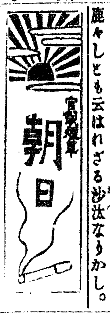
●平壤と大神宮

平壤に於て大神宮分靈奉祠のことは多年來の懸案なりしが愈先月來官民有力者間の議熟し奉祠の事と決し敷地は最近の委員會に於て瑞氣山と決定し御旅所を乙密臺に設けこゝに八幡宮靈に祇園三社の分祠を置くことに決したり同社の建築設備費凡て一萬圓に達すべく委員會は更に各町委員を設けて寄附の勸誘をなすべしといふ因に瑞氣山は陸軍より民團の借用地に係るを以て先般小倉駐剳軍經理部長の下壤の際既に其奉祠許可の認諾を得たりといふ

雜錄

●物々し草(一)　星迺家

▲至らぬ理屈に飛んだ泡がれ相手の鼻頭に附着して。ナテヒを拭ふ由もなき客人の身にとりては餘程の苦痛なるべし。それとは御當人御氣に附かれず物々しき屁理屈に時を移し御暇申上ぐべき間隙をも與へず。更に興がるが如く澁茶を薦めて超然たる、物々しとも馬鹿々しとも云はれざる沙汰なりかし。



▲一語の疎忽から、千金の身を捨てると云ふは餘程の往昔より傳つたる誨語なるべしと思はる。が一目の疎忽から是も千金の玉體を損ずるなど珍しからぬ事共なり。

▲物々しき飾り立てのれ孃樣連は何かに其處ある御企てにてやあるべし。唯著飾るは人間の所爲ぞのみは誰しもの眼光に映ずるインスピレーションにこそ。

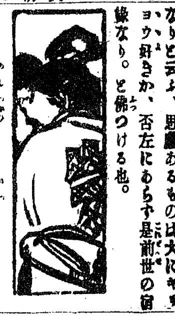
▲毎日、而も三度宛の食事は、如何なる日如何なる場合と雖も決して物々しとは思はずに生きて百年。通算して十萬九千五百回大概の咽喉は搾り耗らされるなるべきも左にあらず、大なるかな人生。

▲殘月一聲杜鵑啼、迚も二聲は聽く能はざる杜鵑の叫び、夫婦喧嘩の啼きは鬢聲あるも面白き傍觀、勝手なるは人。

▲男子には男子特有の權利を有す、女子には亦獨特の權能を所持すと云ふ、情意投合は寧ろ物々しき沙汰ならず乎

▲女子の進んで男子に戀らるゝは、其の拒絕されたる場合に於て大にキツイヽウを下げざるべからざるものあるよりなりと云ふ、思慮あるものは大にキツイヽヨウ好きか、否左にあらず是前世の宿緣なり。と佛つける也。

召使お初　第九十三回　墨法師



「若江は召使察のみを呼び出して、嚴しく詮議爲ゞ云ふも、事はお道に關りあるで、てりや澤野申すやう兩人を呼び出さでは協ふまい、私がきつと吩咐くる、察を同道、お道に出頭爲と、申すぢや」

意外とも意外なる奧方お詞に、驚きたるは若江のみならざりき、澤野の奧深き眼はきよろりと輝く。

「御諚ではござりまするも、察は陪女でござりまする、お目通り協はぬ陪女でござりまする、それを御座の間近う…………てりやならぬ事でござります」

「陪女ではあるも、當家に仕ふるからはやはり御前御家來ぢや。罪科あるを取調ぶるに、什麽の遠慮入らうぞ、疾く〳〵召せ」

平生の靜かに柔かきお聲とは異りて、流石の澤野も返す詞なく畏る。

「只今御諚、是非もないで察を同道、これへ御出頭あらせられるやう嚴しくお道ぞのへ申し傳へ參るぢや」

三の間のお緣の上に手を支いて、澤野の執次を待ち居れるお侍女は心得て座を立ちき、若江は餘りの事に詞も出です、お道運命如何に成り行くかを案じ煩ひながら、空しく其處に平伏したるまゝなりき。

程もなくお道は衣服を改めて參り合ひぬ、後にはお察も從ひぬ、お察如何に奧方御前へ出たるなれど、惡びれたる樣もなく際立ちたる姿なりき、黃八丈の袷衣に黑繻子の帶、黑にて光澤よき髪を高島田に結ひたるが、三の間のお廊下を三尺あまり下りて、恭々しく平伏したる樣、如何にも謹み深く見えき。

お道は進みて若江の平伏したる次に著坐、奧方の御機嫌美はしきを一目拜みたるが、詞はなく疊に額をすり付けぬ、奧方は二人の姿を憐れとも御覽ずるやうに。



「道に訊ねる、そなた召使察とは喃」

お道は少しばかり顔を擡げぬ。

「お次に控へありまする」

「察とは……」と奧方は御目をお察の上に轉して「此方ぢや喃」

お察は平伏したる顔を擡げて、額越しに秘と見入りて。

「物の數にも足らぬ身、これに控へありまする」

陪女に對させられて直々御詞を給はるは、前代に聞きも及ばぬ事、さてもお察は果報女よ、さてもお察は幸福女よ、と人々皆羨ましげに目を睜りぬ、次には澤野代りて。

「お道ぞの、此方お顔にも似ぬ恐ろしいこと爲さるぢや喃」

「何事御訊ねかは存じませぬ、先づ事情を仰せ聞け下さりませ」と、お道は謹んで問ひ返す。

「外ではないが、お家掟を破つて、怪しからぬお文の遣取でも致された氣でざるのう」

「一向心得ませぬ」

「知らぬとて、そのまゝでは、濟まぬあなた宛名のお文、此方へ上つてありまするぞ」

「何物でござりませうとも、什麽樣證據でござりませうとも、道の身に取り毫も覺ない事でござりまするで、少しも存せぬ旨申上げる外でござりませぬ」

「口に什麽樣仰せでも、證據の品が物を云ひまするで、秘し立あらするが御損かと心得まする、まづ胸に手を置き事の可否沈とお考へあらせませ」

澤野の口には毒ありき、人の胸を刺すべき毒ありき、お察は聞きかねて、少しばかり膝を進めぬ。

「恐れながら申し上げまする、澤野樣よりお訊ねの事共、旦那樣御存じあらせぬ事、當人は斯く申す察でござりまするで、什麽樣とも御處刑なさせられ下さりませ」と凛然せる聲なりき。

廣告

名譽銀牌受領
キリンビール

白米現金賣直段
一特等米五斗入 八圓六十五錢
同 一升に付 十七錢五厘
一普一等米五斗入 八圓九十錢
同 一升に付 十七錢
御五錢以上御買上げの際は特に勉强仕り候
京城本町一丁目 電話六三二番
「イ今村商店

◎貸金
旭町二ノ一五別府 組車帳場筋向小路 高橋
有給者には秘密に低利融通可申候

最上醬油
登錄商標 山十
醸造元 千葉縣銚子町 岩崎重次郎
發賣元 京城本町壹丁目 三巴商會 電話七五三番

目錄進呈
洋式帳簿
皆樣種の出來合品あり大族の御註文は直に間に合ます尙特別御誂のものは如何樣にも調製致候
東京銀座三丁目 伊東屋
電話京橋一三二九 振替口座五一一

外科皮膚病花柳病科
診察時間 自午前八時 至午後二時
京城明治町一丁目
醫學士 鶴田善重
電話百九十八番

銀行一般の業務精々御便利に取扱申候
京城黃金町(銅峴)
株式會社十八銀行支店
電話四二〇番 五八〇番
◎貯蓄預金
○本店 長崎市
○日本、朝鮮の各樞要地並に露領浦鹽、淸國安東縣、大連に支店、出張所又は爲替取引先有之候
○株式會社長崎貯蓄銀行京城代理店として貯蓄預金取扱申候
○元金百圓に付日步一錢二厘
○一口一錢以上何程にても御預り申候
貯蓄預金受拂共精々御便利に取扱申候

第六回(七月二日)當籤廣告
第一種 登錄番 五十四號
第二種 登錄番 八十一號
第三種 登錄番 七十八號
第四種 登錄番 九十四號
第五種 登錄番 九十五號、百九十號、二百五十七號、三百七十五號、四百二十號
七月二日
京城時計興振會

直輸入毛織物各種
籐寢臺及籐椅子冷藏庫
諸謨卓子掛夏蒲團類
蛇車及花莚各種
籐御鍋具、柔道著
刀劍銅鐵具、馬具一式
大學石鹼及長崎製洗石鹼
鮒來空氣洋燈各種
火止石油機械用油各種
大弓同矢及附屬品
ノンパレル
火止石油特約店
京城本町三丁目
森安吉商店
電話四三〇番 振替口座朝鮮一五〇番

東京電報 (三十日發)

●東京水害詳報

過日來の降雨今朝に至り小雨となりたるが何分數日間に渉り降雨たる事なれば其後各地の浸水增加し被害益々多く淺草區は本所區千八百八十三戸、深川區八百戸下谷區九百二十戸四谷區三百七十戸牛込區三百戸小石川區二百戸本鄕區八十戸神田區二百戸淺草區千二百戸の多きに達し中にも四谷鮫ヶ橋一帶の凹地は附近の高地より流水滔々として一時床を沒するに至り及び貧民の困難名狀すべからず又四谷荒木町方面の落水と牛込高地より落つる水と片町に落合ひ一つとなりて浮流し淺草區米町方面一帶は川となり下水と共に家具を街路に浮べるもの多く頗る慘狀を呈し

●御床拂と御祝儀

皇太子妃殿下には兼て御出産の如く土曜日午前八時三十分目出度御床拂遊ばされ東宮御所に出御、御正裝にて緋の袴を召され[illegible]御祝儀の爲め 天皇皇后兩陛下には鮮鯛一臺を下賜せられ東宮殿下よりは田內侍從を皇孫殿下にては桑野侍從を李王世子殿下にて金武官を御使として祝賀を述べさせられ皇后陛下にも夫れ〲御祝詞、祝電を發せられたり

●學制改革案

文部省より樞密院に廻附されたる學制改革案は特別委員會に於て文部當局者列席し[illegible]爲したれども何等取纏め[illegible]あるを以て文部省に[illegible]同案に就き再考[illegible]を要す[illegible]を發せられ[illegible]

●王世子の巡遊

李王世子は來る二十日東京出發新潟、群馬、栃木、山梨、長野の五縣下へ見學の旅行[illegible]

●墺國首相交迭

墺國首相ビーネルト氏は辭職しガウチ男其後を襲へり他の內閣員は異動なしとの公電あり

雜報

●各道長官會議

一日より開會中の各道長官會議は二日を以て內務部關係事項及道長官等の提出事項に關する意見の答申を終へ三日は日程の如く午前八時より總督統監の下に政務總監各部長官各道長官總督府各局課長列席支部關係事項に付意見の答申あり正午散會したり

●軍用地の收用

朝鮮師團設置の準備か 總督府にては今回太田白馬山の兩所に於て約二十萬坪餘の土地を軍用地として收用したるが右は朝鮮師團設置に伴ふ施設のためなりと傳へら

●延長里程

朝鮮に於ける電信線の延長は三千二百五十八里にして電話線は市內線三千四百四十六里外線五百二十四里なりと

●總督の訓示(二)

(道長官會議に於ける)

產業の開發を促進せむとせば先づ交通運輸機關の完備に俟たざるべからず[illegible]釜山及新義州間縱貫線と共に京元線及湖南線の爲其の竣工豫定期限[illegible]南線は既に太田より[illegible]哩の工事を了り建築に至り其の工程の進捗[illegible]十六年度に至り開通[illegible]龍山間政府間十八哩[illegible]沿線の實測及工事着[illegible]南線に比すれば幾分[illegible]明治四十七年中に開[illegible]治道の事業は既に經[illegible]百餘哩に止まり各道[illegible]ず並工事を施行せしも[illegible]らしむるものに依て[illegible]貫通すべき道路中最[illegible]道に亘りて二十三線[illegible]より之が改修に着手[illegible]五百八十餘里工事費豫[illegible]五ヶ年を以て完了せ[illegible]方費に依り改修すべ[illegible]ては國庫より適宜の[illegible]縱貫鐵道の改修は完成[illegible]湖南線の鐵道敷設も着々[illegible]鴨綠江の架橋は來[illegible]へ安奉鐵道の改築工[illegible]せむとす於是乎更に[illegible]設備を爲すの必要を認[illegible]る計畫に加へ先づ釜山[illegible]港を改良するの計畫[illegible]は總延長三百六十間[illegible]し三千噸乃至二萬噸の[illegible]の設計と爲し其の[illegible]十四萬八千九百二[illegible]工期間を四ヶ年とす[illegible]元線の竣工に伴ひ貨[illegible]き位地に在るに拘ら[illegible]潮汐干滿の差甚しく[illegible]く三海里を隔つる錨[illegible]からざるの不便を以[illegible]焦眉の急務に屬せり[illegible]居留地前面に連り[illegible]方に假護岸石垣を築[illegible]船渠と爲し北方埋立[illegible]五十間を繫船壁とし[illegible]汽船三隻を同時に繫[illegible]餘圓にして施工期間[illegible]むとす其の工事費總額[illegible]南浦は鐵路水運共に[illegible]長するを以て通商上重[illegible]故に其の從來の港灣設[illegible]更に總費額八十三萬[illegible]式船渠を築造し三箇[illegible]を期せむとす

●京元線の工事

京元線は既に第一第二の兩區とも竣成し本月下旬には建築列車を通過するに至るべく第三區は目下盛んに工事中なるも遲くも十月中に落成するを以て多分政府は本年度內に開通するに至るべく豫じて尙近々第四區第五區の兩區を入札に附せらる〻元山方向よりの起工も九月頃に至れば第一區丈着手を見るならんとの事なり

●金地金の移出額

本年一月より六月の間に於て釜山港より移出したる金地金の數量十二萬七千四百四十一オンスにして其總價額二百四十五万〇七百十七圓なりし

●憲兵隊長會議

三日の憲兵隊長警務部長會議は午前中事務打合午後より菊池殖產局長國分高等法院檢事長宇佐美內務部長官の講演あり最後に各部長管內情況報告等あり午後四時散會したり

●警務統一紀念會

警務機關統一一週年紀念會は豫報の如く一日午後八時より憲兵司令部前庭に於て開催午後九時寺內總督大久保軍司令官山縣政務總監松永中將李完用伯朴齊純子趙重應子等來賓の主なるものにして同十時食堂を開かれ明石總長の挨拶ありて主客歡を盡して十一時散會したり尙當日來會者二百餘名に及びたりと

●市街官有地調査

京城市街の土地の官有地調査は昨今大に進捗し北部は成均館を基點として麻浦迄を調査する筈にて既に昌德宮裏迄調査したれば向ふ約十日間を以て終了する豫定なりと云ふ

●米國獨立紀念祭

四日は北米合衆國獨立紀念日に相當するを以て同國にて盛なる紀念祭を擧行する筈なるが當日京城駐在同國總領事館にては午前十時より正午迄一般の祝賀を受くべしと

●京城民會開議

當民會は三日午後三時より總會を開き豫日委員會に於て決議したる學校新築問題豫算更正、同追加土地貸下規則改正、其の他數件並に本町道路擴張問題の件議案等を付議したり

●京城商議總會

京城商業會議所にては五日議員總會を開き會頭副會頭等の撰擧を行ふと云ふ

●船路鐵道急設建議

曩に開會の全國商業會議所聯合會に於て決議したる裏日本と北滿州とを連絡する船路及鐵道の急設に付建議左の如く昨二十八日同會長東京商業會議所會頭中野武營氏より寺內總督へ當會議所を經由し提出したり

北朝鮮殊に咸鏡北道の地は露清兩國と境を接し間島琿春の沃野に連り未だ斧鉞の及ばざる森林を有し鑛產に富み沿海水產の饒亦無盡藏の稱あり而して間島琿春方面に對する貿易は地理上當然我が商權範圍に收めざるべからず然るに現今同方面に輸入する貨物及同方面より輸出する大豆豆粕雜穀及獸皮等は悉くポシェット灣を經由して浦汐に出入しつ〻あり而して一面露國は極東政策として移民の奬勵に努め既に十數万の良民を沿海州に移住せしむるに至れり茲に於てか北朝鮮の開發は益々其の急を告ぐると同時に間島琿春及北滿洲に對する我が貿易は到底之れを現時の狀況に放任し去る能はざるのみならず大に之が振作發展の方策を講せざる可からず而して其の方策たるや他なし先づ速に裏日本と北朝鮮との航路を開始し更に淸津より會寧を經て吉林に至る鐵道を敷設し以て最も捷徑の策を爲す頗ぶる吾人の希望を採納して速に本航路及鐵道の敷設を企畫せられんことを

●本町擴張期成會

既報の如く梶原、田村、釘本、淵上、進氏等の發起に係る本町道路擴張期成同盟會は愈々三日午後三時より百數十名の會員本町商業會議所に參集し發會式を擧行す

群山通信 (三十日發)

◎大氣濛々みふらずみ雨期の群山の情氣に打たれて人心委靡振はざるの折柄左記の事實は多少人心を刺戟して幾分當港に景氣を附け申候。

◎豫て築港問題を提げ上京中なりし阪上民長及橋本委員の歸群は歸來未だ結果の發表なきも京城よりの通信と當港の風説は總督府に於ても既に築港の止む可からざるを認め之を決定し遠から技師を派して實測せしめ來年度の豫算には其經費二百五十萬圓を計上する筈なりと報じ之が爲め一般の人氣引立ち中にも氣早の連中は築港案既に決定せしものゝ如く想像し祝賀會をさへ催ふすべしと唱ふるものも有之聊か滑稽の樣なれども築港問題に就ては當港の人士が如何に熱中せるかを察するに餘りあり候。



祝 米國獨立祭

◎昨今當港の貿易界は輸出入共閑散季に入り市況一般に沈滯に陷りつゝある所柄湖南線工事に使用の土管六千個を積載せる湖州丸の入港は埠頭の寂寞を破りて多數の土管は小山の如くに積上げられ工事終了後の群山を思ひ起さしめ候。

◎同時に又兩三日中入港の千代田丸に積上げらるべき籾二萬五千袋餘も亦稅關構內外所狹きまで累々として積上げられ荷役に從事する人夫や車馬の往來絡繹として織るが如く埠頭の光景近來になき壯觀を呈し市中の景氣もこれがために何となく引立てる樣に見受られ候。

◎序に當群山港と浦鹽斯德港との間米穀の輸出貿易に就て一言記述可仕候、當港より始めて同港に米穀の輸出を開始せるは去る三十五年釜山の米穀商店當港より同港へ向け籾二百五十石輸出せしを以て嚆矢とす爾來三十六年に一回四十二年に一回都合三回ありしも同港と當港間には金融機關の連絡なきのみならず中間釜山港に於て積換を要する爲め運賃比較的高價に失し加之滊船便とても一ヶ月僅に一回(釜山浦港間)

●韓銀上半期成績

…吉田營業課長談…

韓國銀行に於る本年度上半期純益金七萬三千八百二十九圓七十一錢にして之を前半期の純益金三萬九千餘圓に比すれば約三萬五千餘圓の增加を見たり之れ畢竟新政の進捗に伴ふ各種事業の勃興に依ると雖も朝鮮の主要物產たる大豆の昨冬以來引續き高價を支持し米價も亦日本內地に於ける不作の餘波を受け今春來內地移出其の他各地の出廻は頓に增加し旁一般經濟狀態は漸次兩三年來沈睡の悲境より脫離するに至り一面に於て恩賜公債の買入れ約三百七十餘萬圓に達し此の種の資金は各地に融通され一般鮮人等の購買力激增したると、朝鮮の運命如何を危ふみ只管手控勝なりし內地人の各地に於ける諸企業も併合實施後世態の極めて靜謐なるに乘じ今春來擧つて一時に着手せらるゝに至るあり茲に朝鮮の財界は彼是相俟つて活氣を加へ來り鮮人の購買力增進は頗る顯著なるものあると共に朝鮮輸移入の各品は槪して增加の趨勢に傾きつゝあり尙從當行上半期に於ける金融以目下詳細に調査中なるを以て追て報道すべし

に過ぎざれば當時は猶需要少なかりしため進んで取引を試みんとするものなかりしも本年に入り同地方の露國軍隊間に糧食として米を使用するに至りしより俄然として朝鮮米の新需要を惹起し斯界に一大福音を傳へしかば當港に於ても有力なる二三の米穀業者協同して同港へ大々的輸出を試みるの計畫を立て前の如く籾八百噸の大輸出を見るに至りしは眞に喜ぶべき現象に有之候

◎當業者の談によれば今後籾の買入高一千噸に達すれば新たに滊船一隻を當港へ仕向け直接浦港へ輸送することに豫め滊船會社と協議整ひ居れば將來此種の輸出貨物は續々として現はるゝなるべく而して今秋の出穀期に至らば其輸出額は豫想外の高額に達するならんと申居候。

◎之を要するに前記の如く浦港と當港との間には猶未だ直接金融機關なきため大に其取引を阻碍せられ居る點も有之候へば今後同方面輸出貿易の發展と共に金融機關の連絡整ひ取引を敏活ならしむるに至らば浦港方面は蓋し將來群山米の一大好市場となるべく確信致し候(笑面生)

●日韓瓦斯脫稅問題解決

本紙が過日報道したる日韓瓦斯電氣會社の脫稅問題は爾來其筋に於て取調中の處終に會社は罰金三千圓に處せられこれを以て本問題は一先落着したり

●獨逸艦隊の來仁

獨逸巡洋艦隊司令官海軍少將フォン、クローシャック氏は巡洋艦四隻及水雷艇二隻を率ひ來る八月二十五日仁川入港の豫定なりと云ふ因に同二十九日まで碇泊すべしと

●鬱陵島の近狀

△內地人の職業 同島に在る內地人は約千二百名にして過半は漁業者にして他は商工業に從事しつゝあるが新開地には珍らしく料理屋飲食店は皆無なり

△漁業 本月初旬より十一月迄が烏賊の漁期にして目下一日平均九百圓餘の漁獲あり因に昨年の漁獲高は十五萬圓に達したり

△農產物 同島には米を產出せざるも大豆の收穫最も多く每年移出高三万圓余に上り昨年は不作なりしも本年は豐作なり

△物價 目下の米價は一升三十錢にして其他の日用品も總て五割方高値なり因に同島に於ける外部との取引は多く殆ど皆島根縣境港にして從つて在住內地人は島根縣人なり

●仁川民會委員會

仁川尋常高等小學校々舍前の建物改築の件は前回の民會の決議により更に委員七名を擧げ踏查すべく三日午後一時より民團樓上に委員會を開催せり

●仁川衞生組長會議

仁川の消防費市民分擔の件に付き市內各區衞生組長は四日午後三時より民團樓上に會合し協議の筈なり

●朝鮮七月號

釋尾旭邦氏の「地方官會議に望む」にて數頁に亘る長論文あり地方官の三讀に値ひする時事欄には「經學院を興さる」「道路擴張期成同盟會起る」「仁川の築港問題」「民團の存廢如何」等に就て忌憚なき論評を試み「編輯餘錄」亦穿ち得て快哉を叫ばしむる論說には竹村異次氏の「朝鮮に於ける經濟上の趨勢」在東京兎城生の「英國の殖民政策」藤田嗣章氏の「夏期の衞生」等あり研究欄朝鮮問答共に朝鮮研究の好資料「名士の應接振」頗る面白く「訪問錄」と兩々相對して好讀物たるを失はず此他雜纂文藝等各欄材料豐富「鳳閣秘話」「商買性來」共に毫末を賑はせり(旭町一丁目朝鮮雜誌社一冊二十五錢)

●朝鮮家庭新聞

家庭の改善並し朝鮮に於ける必要問題なり本新聞は之が研究を目的として長野虎太郎氏により每週一回宛刊行せらるもの全部振假名付と―挿畫あり寫眞版あり初めより終り家庭に於ける有益多趣味の記事を載せ文章は何人でも讀み得る樣通俗を旨とせり而かも本新聞將來の抱負は長野氏が「私が官吏生活から一轉して最も放縱と云はるゝ新聞經營に從事することになりました」に就ては第一家庭の改善を目的とすること從て自身も家庭を忘れてはならぬこと第二新聞紙は公衆の共有と心得ること第三一般の態度が特に嚴正なるべきこと之等の結果は當然從來の新聞より改良せられねばならぬ云々の挨拶を掲げ居るによつて之を知るを得べし吾人は偏に本新聞の健全なる發達を祈つて已まず(長谷川町同社一部四錢)

●市原總裁の招宴

市原韓銀總裁は四日午後七時より各道憲兵隊長及京龍の憲兵隊長及警察署長を招待盛宴を張り猶來る八日には各道長官を招待する由なり

●下岡農務局長

滿韓視察の爲め先日東京を出發したる農商務省農務局長下岡忠治氏は三日水原に到着四日入京の上兩三日滯在西鮮に趣き夫れより滿州視察の途に上る筈なり

●野呂氏視察行程

過般來移民事業視察の爲當地滯在中の臺灣總督府移民課長野呂寧氏は三日平壤、新義州へ向け出發、六日當地歸着七日水原模範場視察の上內地へ向ふ由

●本多林學博士入城

東京帝國大學教授林學博士本多靜六氏は二日入京天眞樓へ投宿せり

●海老名氏一行の退京

當地滯在擴張傳道に從事中なりし海老名長田牧師の一行は三日午前八時發大邱に向ひ同地に於て一日間滯在講演を爲し四日釜山を經て歸京すべし

●中大路事務官逝去

京畿道內務部長中大路正雄氏は過般來腸窒扶斯にて總督府醫院へ入院中の處治療叶はず二日午後九時逝去せりと

●東拓移民募集員出張

東拓會社に於ては內地移民募集に關し事情說明の爲め同社の井上秀一氏を福岡、熊本、佐賀及長崎の四縣へ小山達郎氏を岐阜、福島、宮城の諸縣へ出張せしむる筈なる

●江原道の農作

江原道三陟平昌、洪川地方は旱天の爲め農作物は益々枯死せんとしたるを過般の降雨にて稍々恢復したる由なるも平康郡地方は水不足にて作柄不良なりといふ

●浦項民請願成る

慶北迎日郡浦項に金融機關設置の請願を爲したる事は既報の如くなるが度支部當局に於ても大に同意を表し本月來開催の慶尙農工銀行株主總會の際に附し同地に支店を設置せしむる方針なりと

韓銀券發行高通報

發行平均高	二一、九七三、二五七
內 正貨準備	七、八三六、八五七
保證準備	一四、一三六、四〇〇

公人 私人

▲本多靜六(林學博士)七月二日天眞樓
▲荻谷籌夫(朝鮮新聞社長)同仁川行
▲松本清司(金融組合理事)同釜山行
▲橫山光職(陸軍二等主計)龍山行

▲京城手形交換高▼

	金高	枚數
七月三日	二五五、一六九、〇四〇	六六〇

仁川港出入船舶

△誠辰丸 四日大連より入港
△三笠丸 同安東縣へ向出港
△基隆丸 同 同
△城辰丸 同長崎へ向出港

▲治外法權▼

一日の夕、警務總監部構內であつた、警務機關統一一週年紀念祝會は中々盛會であつた、來賓の爲めにビールの酌をして居たのは中々の愛嬌であつた▲明石總長の平生鬼とも見らるゝ各總監部員が此夜來賓に對せる接待振り、之れまで鄭重を極め、平素の明石其人とは思はれざる位、ソレやコレやが因を爲して祝會は成功に終つた▲只茲に一の疑問は之れで一週年の祝會は濟むだが、來年の當月當日、第二週年の紀念祝會が擧行さるゝか、ドウかだ、總長明石シッカリして疑問を疑問たらしめざることに勉むべしだ▲官幣大社朝鮮神社創立の議が其筋にありとは結構の事だ、希くは一日も早く其實現を見、年々併合の當日に於て大祭を行ふ樣にしたいものだ▲最近發行大阪新報に曰く鑑富峰、吉野太左衞門を紹介して、之は五番目の京城日報社長と云ふ、其理由を聞くと第一番の社長は寺內總督第二番は山縣總監、第三番は明石總長、第四番は小松局長、第五番が乃ち吉野だと▲五人の社長は世界無比だ、ダカラ若しソレが本當なら世界一の新聞が出來る譯だ、併し記者は大新の所報チヂッとは信せぬ▲京城に辯護士大會、コワ是非ともに開きたいものだ、記者の望は第一、全國の辯護士に半島司法事務整頓の有樣を見せてヤリたいのだ、第二彼等をして半島監獄の現狀を見せてヤりたいのだ。

藝妓健康診斷の議と各方面の意見

藝妓に健康診斷を受けさせると云ふ噂が傳はつて以來其の側の恐慌と云つたら凄ましいものだ、無理だ人權蹂躪だなぞと憤慨するもの、身に覺へがあるから受けても宜しいけど軍隊さんぢやァ堪らないつて新町の娼妓さんですら檢査と云ふと慄へて御座る、まして初めて出會す妾達は恐いと云ふもの杯樣々である、從つてでげす從つて局外者にして而して深い關係のある容筋の中にも贊否の論がある、此の時に際りて之れを紹介することも豈に無益の業ならんやでしよう

京城辯護士會長 大久保雅彥君

第一番に最も意見の多かりし相な而して最も斯道に造詣深き君を長谷川町の住居に訪問した、相對して座定つて來意を告げると破顏一笑して口切りは恐れ入るナア併し意見は大に有るかられ話しする無論忌彈なしにだとも、此の問題なぞ**常識を以て判斷**すれば眞實にすべきもの、即ち**問題**にす可き事でない、當局者にして見ると藝妓は多くの客に接するから衛生警察上健康診斷を受けさせることは至當の如く思料せらるゝかも知れぬ、夫れは藝者と云つても或る一部の者は殆んど彼の酌婦と異る所なき所爲あるは公然の秘密なれば之に依る**梅毒傳播豫防**の爲めであるものと解されて居るらしいからね、併し藝妓に接する**客**の大部分を通じて彼の娼妓に對すると同一の**目的**を有するものは十人に一人で藝妓の客を取ると云つてから多いので三人位で**大概**は**一人の旦那を守**つて居るものだ、但し浮氣に至つては素人と雖も此の限りにあらざるに於てをやだ、其處で其の客、旦那なるものを取るにして娼妓の夫れの如く强制的でなくして極めて廣い意味の**合意的**である、然れば客と雖ども一方或る意味の**情人**である、男のこれに**金錢**を與へるのは**强者が愛の表彰**に他ならぬ、相愛的情人への情事上に迄もサーベルをガチャ附かせる必要はなからう、[illegible]妓は變態、和樂の[illegible]者としてあゝ然るに[illegible]て娼妓と同じ列に[illegible]ば浚來觀察即每を[illegible]も極めて面白くな[illegible]なるのみならず藝[illegible]人に侍る者なる故[illegible]

醫師の診斷を受け居る

今日も既に少々の[illegible]況んや醜行爲に對[illegible]の在る有りである[illegible]夫れは日露戰爭の[illegible]の健康を保持する[illegible]て仲居から旅館の[illegible]行つたことがある[illegible]りしに拘はらず非[illegible]深く立入つて之れ[illegible]なるよ何にしても**絕對に不贊成**を表白する

牛乳とトラスト

▽果して改良なるべきか

平山牧場を除きて當地牛乳搾取販賣同業者は此度トラストを組織して本町五丁目食料品雜貨商**藤富國商店に其の一手賣捌を囑托**したが是れは輕々に[illegible]勿論牛乳搾取業者[illegible]たのに安心して比較的不良の牛乳を供給する如な不都合はあるまいが併し少くとも油斷は出る[illegible]競爭者が無いに油斷が出るのは免る[illegible]程未だ今日では左樣[illegible]ても不日左樣なる[illegible]〻敵である**油斷は横着心を馴致する**、客を精選しなくなる[illegible]頗はすことが多く[illegible]心出來なくなる、[illegible]力相互に監視して[illegible]と仰云る、然らば[illegible]て夫れが出來ます[illegible]で押すと覺束ない[illegible]は各業者競爭して[illegible]者の口吻に依る[illegible]が出來たが今度の[illegible]時に**七錢**に一定すると云ふではないか[illegible]

一合一錢宛の値上げ 既に其第一歩に於てすら斯くの如くである、之れを知つて而して今後[illegible]を保證し得るものが[illegible]あるか、記者の言の當らざるに[illegible]を希望するものなるが斯業者諸君克く其の覺悟ありや

●誹毀事件の判決

日本電報通信社京城支局主任牧山耕藏氏に關する無根の記事を掲載し同氏の名譽を毀損したる誹毀被告人新聞紙法新半島主幹山進吉は刑法第二百三十條に該當する犯罪として**罰金三十圓**に處せられ尙ほ自己の發行する新半島に四號活字を以て十日以内に二回に涉り名譽毀損の謝罪廣告を爲す可しと判じ罰金を完納する能はざる時は金十五圓を一日に換算し**留置し勞役場に三十日**又廣告は右兩紙何れにも爲す[illegible]五圓を民事原告人に支拂ひ民事原告人により廣告す可しと判決せられたり而して**謝罪廣告**文の意味は[illegible]事件と百五十圓新聞[illegible]の趣と題し拙者の主[illegible]掲載し名譽を毀損した[illegible]謝罪の意を表す雜誌新半島主幹山進吉一日本電報通信社京城支局長牧山耕藏殿云々なりと

●强盗嫌疑者捕る

京城の市中を騷がし[illegible]騒にして襲には水門[illegible]る辯護士謀殺犯人は[illegible]南部署管內に於ける演[illegible]妻を殺し掛けたる殺人[illegible]は今日迄未だ何の手掛[illegible]不又々騒きに警務總監[illegible]目ドラック商會に二[illegible]名は短銃一名は日本[illegible]舞聞を强奪したる事件[illegible]者に於ては司法主任濱[illegible]に司法係刑事長野岸佐[illegible]は蠢殺食を忘れて犯[illegible]探聞する處に因ればド[illegible]で細田[illegible]の三名引致され取調中[illegible]は仲々白狀せず尙は聞[illegible]去る二十三日前嫌疑者集[illegible]の一人某が內緣の妻某[illegible]云々臺の事實を知ら[illegible]の狀況取調べられしに[illegible]ストなどは少しも知[illegible]ペストでなくピトスル[illegible]たど云はれペストルの[illegible]

●居留民一般に注意

七月十五日より居留規則改正に付き身分に關する屆出書類全部改正したるより爾今居留民は同規則に依らざる可らざるに付き違反なき樣最寄民團及警察署に就き承合すべしと

▽仁川藝妓に掛かる政民藏「ヂヤレの幕」

彌々蒸暑き候と成たので京城や龍山からは**仁川**へ下り一日の舟遊を試みげに答へたりと話しなど夢にも知りませんたア覺束な

女振り（三十六）

中村安五郎君四女　中村つる子

中村安五郎君は貞洞佛國領事館の傍に寓して居る官吏でも商人でもないと云つて浪人でもない玄洋社出の夫に似合はず頗る世故に長けて居る人だ往年間島天寶山の銅鑛に巨資を投じ事業漸く緖に就かんとするに際り淸國側の抗議に逢ふた、時の我政府の處置の手緩きを慨し齋藤大佐と相携へて故伊藤公に肉薄したが遂に我外交の犧牲となつて終つた爾來前記の箇所に雌伏して居る、其の人の四女れつるさんは極めて爽快の娘さんだ、容貌も美しく體格も立派である、東京神田猿樂町の高等女子佛英和學校に遊び後香蘭女學校に轉じて此校を出だ才媛で英語に巧で裁縫の技は優に一家を成してる相だ、れ父さんの安五郎君が酒家なので心配をして度々苦言を進めるが一向に利目がないので諦めた風をして御座るが失れでも胃腸を痛めた方を見られると「アルコール中毒よ」と譏して御座る、れつるさんは本年二十歲であらるゝ、れ嫁さんにとの御希望があらば拙者橋渡し丈けは辭し申さぬよ。

●巴城館の若主人松本民藏（三七）さんが揀翠樓の長谷川エツ（二五）

んとするもの日々多數を加へつゝあるが扨ても二日の日曜には粹な遊び振で仁川の紅裙連を羨ましがらせたのは京城の**巴城館**の若主人松本民藏（三七）さんが**揀翠樓**の長谷川エツ（二五）**淸水席**の松本マサ（十九）等の四人連れで一日の午後六時仁川驛着直ちに〇〇旅館に入り姿を變へれまさの如きは大きな腹を抱へて市中を散步し仁川の處狹き程にヂャク付き歩いて

●東雲畫會を觀る

仁川發列車にていと睦しげに歸つたと居たのは一寸癪に障た翌三日午前八時の通信

兼て報道したる如く同畫會は旭町一丁目の白水に於て二日午前十時より開會された、午後一時頃僕も其の淸趣に醉ふべく行く會場に臼新築建增しの全部が充てゝある、懸け列ねられたるが五十七點、●月●下の●鹿の神韻縹緲、俊赤壁の巧緻、●風●竹の風韻、梧桐の瀟洒、達磨の飄逸、其他とり〳〵に面白きに時の經るを覺へなんだ、主人の東雲畫伯は積み上げられたる扇面、短册、絖、畫箋紙等に雲烟を躍らして居ると酒中の仙を以て任ずる神來畫伯ニコ〳〵もので入つて來ると、此所に合作が初まる、誰れやらが差し出した絖に東雲子先づ靈芝を畫けるに淺憲太郞氏なりしか稚松を描く醉神來子靈芝に小鳥を棲らす、一座哄笑。窪田氏？（土地調査局の人なりとか）之れに唯是雙玉の四字を題せらる●●●夕七時淸趣盡きざるに席は撤せられたり、魚鑑觀音の大幅面白き出來榮ねなりしが遂に何人の手にも落ちざりしは吾れ他ともに遺憾なりし（ばく生）

●淺間しの女心や

龍山鐵道構內二十九番戶岡澤吉太郞內緣の妻高松つる（三二）は六月二十三日午前十時頃龍山漢江通り三丁目酒商今菊定吉方雇人金漢用（三二）がつる方に遺忘したる金入圓入財布及集金帳を橫領し共の犯罪を隱し發れん爲め財布及集金帳の取引部分を引裂き總失したる事發覺檢事局に送られ三日京城地方裁判所に於て公判開廷せられたり

●佐藤牧商店の迷惑

去五月十九日京城日報に掲載せられたる「淸酒取締の必要」と題せる記事中に京城本町二丁目佐藤牧商店の一手販賣にかゝる澤の鶴にホルマリン含有を發見し云々とありしものから同店は大に迷惑を感じ其串實の取調べをなすと同時に陸軍衛戍病院に依賴し分析したるにホルマリンは毫もなきのみならず公然酒界に使用すべきサルチルサンも定量以下極少量にして淸酒としては餘程好良の成績を得しも更に又南部警察署を經て警務總監部衛生課に願出で新古酒共再三分拆せられたるもホルマリンは毫末もなきことを確め得たるのみか淸酒としては無比良好の成績を得たるとのことなり然るに其澤の鶴中にホルマリンを發見せしとは本町五丁目棒元商店が總督府一部の人士に澤の鶴と稱して納めたるものを分拆せしに其が中にホルマリンの含有せしを發見したるものの由にて棒元商店が澤の鶴と稱したるは誰か有害物を混入せしか或は他の惡酒を澤の鶴と詐名せしかの何れかにあるべしされば佐藤牧商店にて調査したるに同店より棒元へ澤の鶴を賣渡したるは昨年の十一月八日に一樽と本年四月十三日に三合との外なき由なれば棒元にて變化せしものなるべしと同店員は語れり

●仁川の不良飲料水

仁川ラムネ會社及中山商店の製造に係るラムネ及蜜柑水香氣水等に往々不良の混入物又は腐敗したるものあるより仁川署にては一昨日市中の販賣店にて數十本を押收したりと云ふ時節柄一般の注意肝要なり

●淸鮮人の肩當て

太平町居住鮮人金成五（十九）は淸國人宋玉番（三九）と長谷川町に於て通行の際肩と肩とを衝突させ互に喧嘩を初め南部署に引致され取調中

●徵兵令違犯

原籍德島縣美馬郡貞光町字柴內番戶不鮮農要造三男藤田久市（三二）は先年渡鮮し龍山櫻町三十四番戶平田初太郞方へパン屋職人として住込み居りしが本年徵兵適齡の處同人は當差出したる檢無屆不參し初太郞方の金五十圓拐帶橫領江原道春川へ逃走潛伏し居りたるを發見せられ去る一日徵兵令違犯として逮捕せられたり

●矢野動物園の開園

過般來屢々報ずる所ありし同動物園も愈々二日巨象無事到着せしより四日午前九時より毎日旭町民團役所裏に開園一般公衆の觀覽に供する都合なるが趙重應子爵は矢野動物園主とは舊知の間柄とて何彼と便宜を圖り居る由にて三日同園を訪ひ動物一覽の後歸邸したりと

●浮浪者拘留十日

宮城縣石之卷郡石之卷町百廿一番地生れ八重面一（三七）は一定の住所職業なく諸所を徘徊し居るより浮浪罪として南部署に於て拘留十日に處さる

●空家荒し

南部墨洞李千萬（二〇）本町五丁目林田定十氏所有に係る住ノ出町空家に忍入り硝子を竊取し南部署に於て取調中

●尻を五十宛叩らる

柳子善（三六）許臺家（三三）文淳五（三三）金光明（二四）崔聖一（三五）金烏瑞（三五）金學根（二八）の七名は一日午後二時半頃賭博の現場を南部署に檢擧され各笞五十に處せらる

●仁川藝妓の腕比

六月中の席順十名までを御披露に仕らべしいの一番が一富士の久子、二番米蝶（一富士）三番生駒（八阪）三桝（朝岡）萬龜（同）福太郞（うろこ）花子（一進樓）玉勇（うろこ）桃太郞（八阪）富美子（一富士）

●演藝だより

●壽座　二日を以て當地打揚げ歸東の筈なりし片岡松之助一行は好劇諸子の爲めにより三日より五日迄三日間日延べ開演することに成りたるに就きては長らくの御愛顧に酬ふ爲め木戶場代共半額に値下げし一同大車輪にて御覽に入るべしと四日の藝題左の如し

前狂言「寺坂善の誠忠」中「紙治茶屋場」切「三十三所觀音靈現記」澤市內の場より壺阪寺まで

●浪花館　四日より十五錢均一にて御穩に達しまする合併演藝當演し物は須磨めぐり、月花此友鳥、ぬけすゞめ、た茶屋、けいこや、常盤御前、みろかの浮れ掛取、中江兆氏君、香曲くらべ（ペジョンベール）

廣告

淸涼飲料 シトロン

懷中良藥 消化と毒けし
三輪井上兩博士方劑
ジンタン 仁丹 は
●中暑水瀉 ●食慾不振 ●胸腹の痛
●しぶり腹 ●頭痛目眩 ●船車の暈
●嘔吐下痢 ●酒齒味增 ●惡疫豫防
などに最もよくキクよい藥
何人も御服用あれ

代理店 京城南大門通 新井藥房
電話 一〇六八番 九〇四番
振替口座韓國 十六番

朝鮮

七月號（第四十一號）
定價 一冊 金二十五錢 一ヶ年 金二圓 半ヶ年 金一圓五十錢 郵稅八錢 前金

地方官會議に望む……時事
▲朝鮮に於ける經濟上の趨勢……竹村米法博士
▲英國の殖民政策……釋尾旭邦
▲夏季の衛生……鬼城生
▲大英帝國會議に就て……藤田院長
▲朝鮮繪畫……日田二荒
▲日く集……一記者
▲鮎貝房之進　▲朝鮮の林制考……本間如四
▲朝鮮の染色……今西文學士
▲和事の名稱に就て……高木文學士
▲警察より見たる朝鮮人……今村警視
▲朝鮮の牛皮……東海岸の漁業……吉永彥太郞
▲畜産課長……原田技師
▲一朝記者……畜堂の現狀……日滿朝名
▲大隈伯邸の半日……可水生
▲葉山の林伯を訪ふ……痩せたる水生
▲鮮の網に就て……水野子
▲生の必要……森安醫學博士
▲弱きに非ず……石田視學官
▲無意識的感化……今井上雅二
▲朝鮮には內地人の重罪犯は少し……井上雅二
▲朝鮮の鐵道連貫……今村署長
▲南大門より新橋まで……旭邦
▲三本發業課長
▲大碑小暖……望天吼
▲ウィリアムペンの殖民事蹟……九四二
▲生物學より觀たる京城……工藤ドクトル
▲支那への愛……武井生
▲百花園の花あやめ……東都文壇記
▲岩佐醫學士
▲人の要……
▲わが日記……
▲岡崎文學士……
▲可水……
▲盛答……
▲短歌……
▲俳句……
▲朝鮮問答
▲風聞雜錄
▲商賈往來
▲時事日誌

發行所　京城旭町一丁目 朝鮮雜誌社（電話 一二五〇番 振替口座京城一三一）
大賣捌所　京城本町二丁目 日韓書房（電話 一四五番）

新刊雜誌着　七月號

雜誌名	定價	郵稅
新日本	二六〇	二五
實業界	一八〇	二〇
太陽	三〇〇	三五
朝鮮	二五〇	二五
中央公論	二〇〇	二〇
新公論	二〇〇	二〇
實業界	一一〇	一五
實業之日本	一一〇	一〇
實業俱樂部	一五〇	一五
國民雜誌	一五〇	一〇
成功	一五〇	一五
大國民	一五〇	一〇
精神修養	一五〇	二〇
婦女界	一五〇	二〇
女學世界	二〇〇	一〇
婦人世界	一五〇	二〇
女學生	一五〇	一五
婦人の鑑	一五〇	一〇
文藝俱樂部	二五〇	二〇
新小說	三〇〇	三〇
演藝畫報	三〇〇	三〇
婦人畫報	二五〇	二〇
雄辯	二〇〇	二〇
美人畫報	三〇〇	二五
冒險世界	一五〇	一〇
大阪パック	一二〇	一〇
東京パック	一三〇	一〇
クラヒック	一五〇	一〇
サンデー	一〇〇	一〇
日曜畫報	一〇〇	一〇
文章世界	二〇〇	二五
笑	一五〇	二〇
少女の友	一〇〇	一五
少年の友	一〇〇	一〇
少年	一〇〇	一〇
旅行案內	一〇〇	一五

京城本町二丁目 日韓書房 振替口座 一二五

解雇廣告

帳場 三宅貞雄

右之者都合に依り本日限り斷然解雇致候間爾今關係無之候

七月一日　京城旭町一丁目 九州旅館

●諸公債諸株券 現物賣買、迅速確實に御取扱可申候兼業 既製洋服卸小賣 諸官衙御用達 京城本町三丁目 大阪野村銀七代理店 田中友吉商店 電話九九三 電略(タ)

手輕產兒院

入院料一日五十錢但し手傳料包含す患者の希望に因り自炊するものには一室を貸與す

西部新路通り元明禮宮跡

主任 產婆 三池鶴代 外三名

(電話一四八九)



●かれこれと迷ふこと勿れ完全無缺の大學目藥あり

大學目藥は帝國醫科大學病院の處方に基きし貴重の製劑にして●流行目●トラホーム●爛目●のぼせ目●かすみ目●血目●疲目其他眼病一切に可驚奇効あり

發行所元 ヘブリン丸 組 大阪市北濱二丁目 參天堂藥房



各藥店にあり・定價・五錢・十錢・十五錢・三十錢

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百四番千六十八番 振替口座京城十六番

瓦斯コークス販賣

京城黃金町高等演藝館横

酒井組 電話一一四九番

土地建物鑛山株券賣買

一 確保及確實なる債權に對し低歩貸金す
一 漢江上流に在る赤松長五六間のもの二十萬本餘賣物あり
一 市内適當の場所にて印刷業老舖機械附屬品全

小林藤商店

一 鄙讓り物あり
一 良質の石綿山黒鉛鑛歩止まり好き金鑛賣物あり
一 水田畑及市内宅地割安の賣物あり
一 電話賣物あり

京城明治町三丁目 電話六五五番

一日にして効能現はる

複方タルリン

りん病 洞らい藥

諸方、高橋病院長有効證明

價 三日分 廿錢 七日分 四十錢 十四日分 七十五錢

本舖 日本大阪 高橋盛大堂

代理店 京城本町五 木下大盛堂 同南大門三 新井藥房

到る所の藥店に販賣す



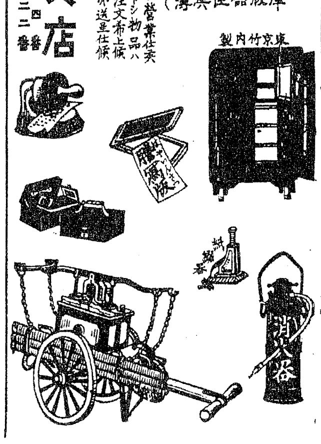
今回諸事改良をなし最も便利に取扱申候

靜養所 仁川 八景園

(電話五五二番)

營業科目

東京竹内製金庫 東京堀井謄寫版 喞筒並ニ消火器 手提金庫 器械的文房具 複寫紙及複寫簿



弊店ハ前記各品專門的ニ營業仕來候ニ價格ハ概子内地ト同一ニ取扱居候間潤澤ニ御注文希上候 營業品目錄ハ御申越次第送呈仕候

京城本町一丁目 **熊平支店** 電話六二四番 振替貯金韓國二二番

牛乳の大王

朝鮮總督府醫院特定御用

京城大和町一丁目 **平山牧場** 電話一三三番

義齒術全般

京城南山町二丁目(伊藤組前に入る)

小倉三郎 電話

英國セフヒールド市 シーボムアンドデイキスタル製鋼會社特約品

鑛山用 地球鷲印八角鋼
道具用 同 角磨鋼
職工用 同 鑢各種

右は朝鮮一手販賣罷在候處淸鮮地石材穿鑿具製作用として最も適當の爲め至極好評を博し價格亦内地輸入品より格外廉價に御座候間何卒一度御試用奉希上候

京城本町五丁目

和洋金物商 (藤) 釘本藤次郎本店 (電話四五番)電信略號「ク」振替貯金口座京城二五六番



代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四、一〇六八 振替口座京城十六番

新茶賣出し

精撰本場

右新製品澤山着荷仕り宇治靜岡各國銘茶さ共に精々吟味仕卸小賣共大勉强仕候間倍舊御引立且つ不拘多少御注文の程願上候敬具

銘茶 鰹節 海苔 小賣卸 仁川宮町二丁目 (正) 青島商店 電話七〇九番 振替京城六〇番



代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 振替口座京城十六番 電話一〇六八番九四〇番

本場精撰

右銘茶各種新物續々入荷に付御小賣さも大勉强仕候間多少に不拘御用命願上候

仁川本町四丁目(府廳通)

田中芳春園 電話四五〇番 振替京城五〇二番



代理店 **新井藥房** 京城南大門通三丁目

代理店 **森久商店** 京城本町三丁目



代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百〇四番 電話千六十八番 振替口座京城十六番

弦齋流割烹 すし津袮

南山町一丁目 電話千五百二番

東京 澤庵萬漬物類

特製 寶味噌

御料理向

味噌製造 漬物問屋 たからや 仁川本町三丁目 電話七三七番

酒精アルコール

●新荷着

仁川花町一丁目(電話六五〇番)(電略サ)

坂倉支店

弊館には夜警の設備有り

眺望の好き事 陸軍指定旅館 鐵道院指定旅館 仁川水産組合指定旅館 第一なり 各保險會社指定旅館

御客樣の安全此の上なし

仁川海岸 **旭屋旅館** 電話二五一

資本金五百萬圓

神戸海上運送火災保險株式會社

出張所 京城明治町一丁目 (電話一五四九)

入院隨意

京城壽町三丁目(電話三七八番)

中島醫院

院主醫學得業士 中島貞信

(仝) 美江 公州 間 定期出帆廣告

美江發毎日後一時四十分公州着後六時 公州發毎日前七時美江着後四時半船内御客樣の娛樂用として新聞雜誌碁將棋盤等の備付あり

京釜美江驛前 中條運送美江支店

(キ) 六月中 瀛船出帆廣告

三宵丸 屯串行 七月三日前八時
天草丸 海州行 七月四日前八時
成歡丸 大湖芝海州行 七月四日前十時
海利丸 仁川本町四丁目 七月二日前七時

合資會社 秋田商會船舶部 電話一七三番七五〇